



春闘共同情報

長野県国民春闘共同委員会

長野市県町593 Rinks593 県労連内 TEL026-217-9071 Fax026-217-9073

✉ nagano-krn@rinks593.com

発行
2026年
2月17日

低賃金、物価高から生活まもる

国民春闘2026

26春闘決起集会を開催

– 「失われた30年」を取り戻すたたかいへ–



長野県春闘共同は、上田駅前において26春闘決起集会を開催。約200人が結集しました。各単産・支部から力強い発言が続き、賃上げと暮らしを守るたたかいへの決意を固めました。

細尾代表幹事は、冒頭あいさつで、若い世代が管理と競争の中で「自己責任」を押し付けられてきた現状に触れ、「その不満を排外主義や世代間対立に向けさせる政治が広がっている」と指摘しました。

「低賃金構造をつくり、社会保障を削減してきたのは自民党政治そのものではないか」と述べ、責任を他に転嫁する政治の危険性を強調。

さらに、「数を力に憲法改正、大軍拡、大増税へ進もうとしている」と現政権への危機感を示しました。そのうえで、

大幅賃上げ・賃金底上げ

ケア労働者の待遇改善

ジェンダー平等の推進

本当の意味での公務の回復

歴史の逆流を許さない取り組み



この5つを26春闘と結合させ、「失われた30年を取り戻す戦い」に挑む決意を呼びかけました。「何もしなければ、また失われた30年を繰り返す。歴史の逆流は絶対に許さない。共に頑張ろう」と締めくくりました。

決意表明では4人が登壇。それぞれの職場の実態とたたかいの到達点を報告し、26春闘への決意を力強く語りました。いずれも現場の切実さと怒り、そして希望が込められた、熱のこもった発言となりました。

決意表明

自治労連 上田市職労 橋詰書記長 －公務が賃金をリードする転換を



橋詰書記長は、人事院勧告をめぐる闘いを報告。2025年人勧の引き上げは運動の成果としつつも、物価高に到底及ばない内容や「能力・実績主義」の導入に強い懸念を示しました。

上田市職労では全29回に及ぶ賃金連続学習会を開催し、組合員の声を集約。正規・非正規ともに成果を勝ち取ったと報告しました。「停滞した民間賃金に公務が引きずられるのではなく、公務が賃金水準をリードする転換が必要だ」と力強く提起。

長時間労働やハラスメントなど働き方の課題にも触れ、「26春闘へ官民一体で前進しよう」と呼びかけました。

高教組 上小支部 井出書記長 －教員が壊れれば、教育は成り立たない



井出書記長は、教員の過酷な労働実態を告発。

長時間勤務、持ち帰り業務、休日部活動、増え続ける事務作業。「子どもと向き合う時間より書類対応の時間が長い日もある」と現場の苦悩を語りました。

「教員が疲弊していくには、豊かな教育は保障できない。私たちが求めているのは特別扱いではなく、当たり前の労働環境だ」と訴えました。

また、憲法96条改正の動きに強い危機感を示し、「憲法は権力を縛る最高法規。その改正要件を緩めることは、私たちの権利の砦を弱めることだ」と警鐘を鳴らしました。

JMITU カネテック支部 柳原副委員長 －「生活を守るための春闘」



赤字が続く厳しい経営状況の中、「賃上げを言えるのか」という葛藤を抱えながらも、「このままでは生活がもたない」と声を上げたと報告。

「贅沢をしたいわけではない。ただ普通に暮らしたいだけだ」会社を動かすのは“人”であり、働く人が疲れ果てれば未来はない」と強調しました。

「働く人が元気であってこそ、会社も地域も未来も動き出す」切実な決意が会場に響きました。

医労連 鹿教湯三才山リハセンター 古田委員長 －正規・非正規の団結で医療崩壊を止める



古田さんは、医療・介護現場の深刻な低賃金と人手不足を告発しました。看護師は同年代の高校教員より約5万円低く、福祉・介護職員は約11万円も低い実態。6割以上が「生活が非常に苦しい」と回答し、95%が疲労を感じている現場は限界に達しています。その根本原因は、診療報酬・介護報酬という公定価格を政府が抑制し続けてきたことにあると指摘。「このままでは地域医療・介護体制そのものが崩壊する」と強い危機感を示しました。

しかし、支部は大きな一步を踏み出しました。

昨年6月、規約を改正し、臨時・パートなど非正規職員も組合に加入できる仕組みを整備。すでに1割を超える仲間が新たに加入しています。

「10年働いても新人と賃金が変わらない」理不尽を打破するため、雇用形態を超えた連帯を築いたことは画期的な前進です。

古田さんは、「全職員が固く結束し、大幅賃上げと人員増を勝ち取る。軍事費優先ではなく社会保障への財政拡充を求める」と決意を述べました。

その後、参加者は市内をデモ行進し、市民に向けて26春闘への理解と連帯を力強くアピールしました。

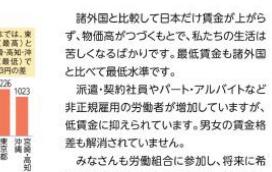
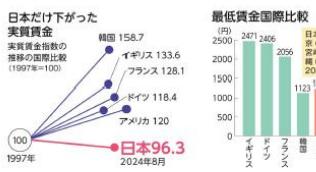
春闘は“社会を変えるたたかい”今回の集会では、賃金、労働環境、憲法、社会保障——それぞれの現場の切実な声が交わされました。

26春闘は単なる賃上げ交渉ではありません。暮らしと民主主義を守るたたかいです。共に前進していきましょう。



3・12統一行動日宣伝

日時：3月12日（木）18:00～18:30
場所：長野駅前（善光寺口）※雨天決行



■長野県春闘共闘委員会

■長野地区春闘共闘委員会

「仕方ない」で終わらせない。
暮らしは守れる。
賃金は上げられる。

3・12統一行動日
長野駅前で訴えます。

あなたも一緒に。

未来は、声から始まる。

【26国民春闘の主な行動計画】

2月12日(木)	長野県春闘共闘 「2026年春闘決起集会in上田」
3月04日(水)	JMITU 「統一回答指定日」
3月05日(木)	JMITU 「第1次統一ストライキ」
3月11日(水)	国民春闘 「賃上げ 回答集中日」
3月12日(木)	全国統一行動日（長野駅前行動）
4月9日(木)	最賃DW宣伝（最賃ビッグアクションデー）